

第21回太宰治賞 贈呈式がありました

第21回太宰治賞の贈呈式が6月15日、東京會館(千代田区)で行われました(写真)。受賞者の津村記久生さん(作品「マンイーター」と川本晶子さん(作品「刺繍」)は19日の「桜桃忌」に三鷹を訪れ、禅林寺の太宰の墓前に花を供え、その後、芸術文化センターで行われた太宰治朗読会で挨拶しました。



左から清原市長、津村さん、川本さん、太宰治の長女・津島園子さん

「太宰治賞2005」を差し上げます

受賞作品と最終候補に残った他の2作品、選評などを収録した冊子「太宰治賞2005」を、市内在住・在勤・在学の方30人に差し上げます。7月11日(月) (必着) までに、往復はがきに「太宰治賞2005」希望・住所・氏名・年齢・電話番号・太宰治賞事業への感想と返信宛先を記入し、「〒181-8555三鷹市役所コミュニティ文化室」へ申し込む。申込多数の場合は抽選。当選した方以後「コミュニティ文化室」(市役所5階)で配付します。↓同室(内線)2517

第22回太宰治賞募集

当選作 1篇(このほか「優秀作」が選ばれることもあります) 締切 平成17年12月10日(消印有効) 発表 平成18年5月に発表予定。当選作品、優秀作品最終候補作品は「太宰治賞2006」(平成18年6月刊行)に掲載予定。当選者には正賞に記念品、副賞に10万円を贈呈。

ホタル鑑賞の夕べ 今年も「ほたるの里」の産線で5月末、ゲンジボタルが見られました。湧水の減少や天敵ザリガニの増殖などの影響で、残念ながらほんの数匹でした。そこで、今年の「ホタル鑑賞の夕べ」は、養殖のヘイケボタルを放す予定です。

7月16日(土)午後7時30分、9時(予定)、大沢2 17野川・相曾浦橋きわで。当日、直接会場へ。会場付



村治養一のふれあい街角 出前「ギター・コンサート」三鷹市芸術文化振興財団主

近には駐車できません。車でお越しの方は、野川公園駐車場(有料)をご利用ください。↓ほたるの里・三鷹村事務局 ☎090 4171 3070



備、連雀地区住民協議会共催 7月26日(火)に風のホールでリサイタルを行う村治養一さんのミニコンサート。現在ニューヨーク・マンハ

選考委員 (敬称略) 高井有一/柴田翔/加藤典洋/小川洋子 応募規定 未発表小説に限り(平成17年中に同人雑誌など商業出版ではない形で発表された活字原稿は選考対象)。400字詰原稿用紙50(300枚)活字・ワープロ原稿は、原稿用紙に換算した枚数を明記し、A4判40字×30行の設定で。応募は1人1(2)篇。原稿の前に、氏名(筆名の場合本名も)・住所・電話番号・生年月日・年齢・略歴(出身地・学歴・職歴・文筆歴など)を明記し、原稿は必ず綴じること。原稿受取り確認希望の方は、住所・氏名を記入したはがきを同封。送り先 「〒111 8755台東区蔵前2-5-3 筑摩書房内 太宰治賞係」 当選作品の出版権および映画・テレビ・ビデオなどの権利は、筑摩書房に帰属します。

くわしくは筑摩書房太宰治賞事務局 ☎03 5687 2671・市コミュニティ文化室(内線)2517へ。

第16回三鷹国際交流フェスティバル「テントショップ」出店者募集 9月25日(日)、井の頭公園西園で行われる「第16回三鷹国際交流フェスティバル」(財)三鷹国際交流協会・MESH(主権)のテントショップ出店者を募集します。

「心に残る成人式」の企画に参加してみませんか? 新成人の門出を祝う「成人を祝福する」とい(成人式)を、今年度も成人の日(平成18年1月9日祝)に開催します。新成人が三鷹のまちに関心を持ち、新たな出会いのきっかけとなるような企画を実行委員会と考えてみませんか。 新成人だけではなく、関心のある多くの若い方の参加をお待ちしています。 9月9日(金)までに、生涯学習課(内線)33313・shogai@city.mitaka.tokyo.jpへ直接ご連絡ください。

ツタン音楽院で学ぶ村治さん。今後が大いに期待される22歳のフレッシュな演奏をアメリカでの音楽生活や楽器のお話しと合わせてお楽しみください。 7月10日(日)午後2時開演、連雀コミュニティセンターロビーで。 当日、直接会場へ。

学校・職場のいじめ電話相談員を募集 多摩交流センターの助成で9月開催の「いじめホットライン」(電話相談)の相談員を募集します。事前学習会を開催しますので、初めての方もぜひご参加ください。 学習会 8月5日(金)7日(日)の午後1時~8時30分、武蔵野公会堂(吉祥寺駅南口徒歩3分)で。資料代1日600円(18歳以下の方は無料)。

「TAMA市民塾」塾生募集 三鷹など多摩の30市町村の住民を対象に、生涯学習講座の塾生を募集します。 10月~平成18年3月、多摩交流センター(京王線府中駅下車徒歩3分)で開講(18講座)。受講料 全6回講座3千円、全12回講座6千円。 7月15日(金)8月15日(月)に同センター ☎042 335 0111へ申し込む。くわしくは http://www.tama-100.or.jp をご覧ください。

得ること。同フェスティバル出店者を順守し、場内のごみ分別・収集活動に協力すること。 8月20日(土)午後2時から開催する説明会に出席すること。 7月4日(月)11日(月) (必着)に所定の申込用紙に団体概要・活動実績を添付し、「〒181 0013 連雀3-30 12(財)三鷹国際交流協会」へ郵送する。同フェスティバル実行委員会において審査し、出店の可否を8月10日(水)ごろにご連絡します。くわしくは同協会 ☎43 7812・http://www.parkcity.jp/mishop/へ。

チケット インフォメーション

芸術文化センター 星のホール Mitaka "Next" Selection 6th. スクエア 第17回公演『けーさつ』 7月29(金) 19:00・30(土) 15:00 19:00・31(日)14:00 (4公演) 全席指定 前売 会員=2,200円 一般=2,500円 当日 会員=2,500円 一般=2,800円 高校生以下=(前売・当日共)1,000円 作:森澤匡晴 演出:上田一軒 出演:上田一軒 森澤匡晴 北村守奈須崇 わかぎあふ(リリパットアーミー) 佐久間京子(ランニングシアターダッシュ) 長尾ジョージ(爆苦連名世!) 関西随一の「爆笑ほんわか喜劇」! 放課後の教室で鳴り響いた女教師の悲鳴。駆けつけた4人の警察官、逃亡する容疑者。笑い感動のスクエア版ボリスコメディ、待望の東京公演。

芸術文化センター 風のホール 沼尻竜典&TMP37th 夏休み最初のファミリーコンサート 7月23日(土) 17:30開演 17:30~17:45 みたかジュニア・オーケストラによるプレ・コンサート 18:00~ 沼尻竜典&TMP「ファミリーコンサート」 全席指定

三鷹市芸術文化振興財団 (芸術文化センター内) ☎47 5122 http://mitaka.jpn.org

会員=3,000円 一般=3,500円 高校・大学生=1,800円 中学生以下=1,000円 *3歳児以下の入場はご遠慮ください。4、5歳児をお連れの方は、2階正面の親子席をご利用ください。 出演/沼尻竜典(指揮・ピアノ・おはなし) トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ(管弦楽) 曲目/フンパーディング:歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より、プーランク:「子象のパパル物語」より、「となりのトトロ」メドレーほか アレクサンドル・メルニコフ ピアノ・リサイタル 10月2日(日) 18:00開演 全席指定 会員=3,000円 一般=3,500円 三鷹市内在住・在勤の方=3,150円 学生=1,800円 曲目/ショパン24の前奏曲op.28(全曲)ほか 1973年モスクワ生まれのピアノ界の若き彗星メルニコフは、弱冠16歳でショパンコンクールほか国際コンクールで矢継ぎ早に上位入賞を果たし、伝説の巨匠リヒテルの代役として演奏したという逸話も持っています。

発売初日は10:00から電話のみで受付。印の公演には託児サービスがあります。料金500円、要予約、対象:1歳半から未就学児、定員10人

そのメルニコフがオールショパン・プログラムでのリサイタルに挑みます。 演奏者募集 同日開催:一般公募によるショパンピアノ作品リレー演奏会「ショパンを弾こう」 10月2日(日) 12:30開演 全席自由 入場無料 ゲストのメルニコフさんによる小品の演奏、インタビューもあります。 抽選コース10人、テープ審査コース10人を募集します。 ▶とも、ショパンのピアノ作品を演奏すること。持ち時間1人10分以内で、2曲以内。 ▶7月31日(日) (必着)までに、は往復はがきに下記の項目を記入し、は演奏希望曲(2曲以内、10分以内)を録音したカセットテープまたはMDに下記の項目と録音した曲目を記入したものを添えて、郵送で申し込む。 記入項目 住所・氏名・年齢・職業(または学校名と学年) 電話番号、ピアノ歴 送り先 「〒181-0012上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター「ショパンを弾こう」」 テープ選考は「ショパンを弾こう」出演者選考委員会が行います(委員長:横山幸雄) 選考・抽選結果は8月下旬にお送りします。応募資料の返却はできません。

市民文芸

三鷹俳句会6月の秀句 選者 井上弘・飯田六斗 給馬に寄す願ひ叶ふや梅は実 三矢恵啓 梅雨入りの晴れて座生の怪訝 顔(けげんがお) 南みち 風驚る給馬に幼き願ひごと 小泉秀夫 谷保の水汲めば影重く夏木立 寺田絢子 給馬の声いくつかなえし夏の 根岸敏三 縁陰に風の声聴く神の鶏 浅沼仁美子 城山を背にささやかな麦の秋 大野静三 更衣誓ひ直しの谷保詣で 田山光起 落し文拾いて野暮なこと云わ 牧文字 踏み減りし天神の礎実梅落つ 岡田幸子 堰音の川面に寄れば頼の花 大久保英一 猫啼いて天神さまの梅青し 久々谷ゆき子

すく濁るはけにぼつぷり浮き沈み 大和谷やまだに慈子の時の日やわが句の道は牛歩なり 根岸操 湧水は流れおたやが着我の花 大竹ハル子